

令和6年度（2024年度）大分大学第3年次編入学試験問題

出題の意図

小論文

（経済学部）

※この出題の意図についての質問・照会には一切応じません。

- ① 「最低賃金問題」という社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価する。

本問では、地域経済や雇用状況などを踏まえ、労働者や企業の立場に立って、地域間格差が生じる原因と経済社会への影響、対応策について論述する。

- ② 「子ども食堂」という社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価する。

本問では、実践的・政策的な視点から「子ども食堂」を取り巻く現状と課題、さらに今後の可能性について論述する。

- ③ 「2024年問題」という社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価する。

本問では、ドライバーの長時間労働や人手不足などの深刻な労働環境を踏まえ、労働者、企業、そして消費者の立場に立って、「2024年問題」の解決に向けた改善策について論述する。

- ④ 「SDGs」という社会科学的素材に基づく出題を行い、理解力（あるいは大意把握力）、論理的思考力、表現力を評価する。

本問では、「SDGs」に関する具体的事例を踏まえて、「SDGs」を巡る問題に触れたうえで、社会課題の解決に必要な実践や政策について論述する。